



視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 鈴木 深由希



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

|         |   |  |       |   |
|---------|---|--|-------|---|
|         | 会派代表者   |  印 | 経理責任者 |  印 |
| 視 察 議 員 | 鈴木 深由希  |  |       |   |
| 期 間     | 令和元年8月11日（日）  |  |       |   |
| 視 察 先   | 三次市福祉保健センター4階 ふれあいホール   |  |       |   |
| 視 察 用 務 | 第1回発達障害シンポジウム in びほく  |  |       |   |
| 視察先対応者  |   |  |       |   |
| 概要及び所見  | <p>発達障害児・者支援には臨床医、教員、研究者、弁護士、社会福祉士、心理カウンセラー、作業療法士、精神保健福祉士、保育士、行政関係者など多くの分野の専門家と家族会参加の下、課題解決に向けて取り組んでいる。一体となった支援体制を構築することが不可欠と、会議代表（元広島大学学長）浅原利正氏の挨拶で始まった。</p> <p>○基調講演「福祉は地域づくり・社会づくり」<br/>                 社会福祉法人ひとは会理事長寺尾文尚氏<br/>                 向原町へひとは作業所を開設した経緯から今日に至るまで、世の中の変化、法整備を交えて話された。実践されたことから出てくる、問題提議、解決策、地域との関わりの重要性など、分かりやすく、参考になった。</p> <p>○シンポジウム：立場の違う4人の方のお話はそれぞれの立場で経験されたこと、思うところ、提案は実のあるものであった。時間配分が少しづれたのか、聞きたいことが聞けなかった点は残念であった。</p> <p>【所見】発達障害を抱える方には一貫した支援が必要であると常に行政にも訴えてきているが、実現はほど遠い。当事者の声、京のようなシンポジウムを広く社会の人たちが聞いてくれることを望む。関係者が集まったの勉強会も重要だが、社会への啓発に力を入れたい。</p> |  |       |   |